

令和8年度(2026年度)

市政アンケートモニター「くるモニ」 第1回目調査報告書

I 調査の目的

市民の方の市政に関する意向やニーズを把握し、市の施策推進の参考データとして活用するとともに、市民の市政への関心を高め、理解を深める。

II 調査テーマ

「自転車の利用促進」 自転車の利用状況や、利用環境、ルールの認知度など
「緑に関する意識」 緑の基本計画の認知度、緑の魅力や関心など

III 調査の概要

- 1 調査地域 … 久留米市全域
- 2 調査対象者 … 満15歳以上の久留米市民から選任したモニター
- 3 調査方法 … インターネット調査
- 4 調査期間 … 令和8年7月9日(木)から7月22日(水)まで
- 5 モニター数 … 600人
- 6 回収結果 … 回収数478人 回収率79.7%
- 7 調査実施機関 … 久留米市 協働推進部 広聴・相談課

IV 回答者の属性

■性別	
女性	56.5%
男性	43.6%
()	0
合 計	100%

■年齢	
15・16・17歳	2.8%
18・19歳	1.5%
20歳代	8.0%
30歳代	19.1%
40歳代	22.0%
50歳代	20.8%
60歳代	17.0%
70歳以上	9.3%
合 計	100%

■職業	
正規雇用者 (会社員・役員、公務員など)	42.7%
非正規雇用者 (派遣・契約社員、嘱託社員、アルバイト、パートタイマーなど)	23.1%
その他就業者 (会社経営者、自営業者、家族就業者、農業就業者など)	8.6%
内職・在宅就業	0.3%
無職 (専業主婦(主夫)、年金生活者、失業中の方など)	19.9%
学生 (大学生、専門学生、高校生など)	4.9%
その他	0.9%
合 計	100%

■居住地ブロック	
東部	9.3%
北部	14.9%
中央東部	14.5%
南東部	8.4%
中央部	16.6%
中央南部	20.8%
南西部	7.0%
西部	9.0%
合 計	100%

【参考】

ブロック別	対応する校区
東部	山川・山本・草野・善導寺・大橋 船越・水分・柴刈・川会・竹野・水縄・田主丸
北部	小森野・合川・宮ノ陣・北野・弓削・大城・金島
中央東部	西国分・東国分・御井
南東部	上津・高良内・青峰
中央部	荘島・日吉・篠山・京町・南薫・長門石
中央南部	鳥飼・金丸・南・津福
南西部	荒木・大善寺・安武
西部	城島・下田・青木・浮島・江上 犬塚・三瀬・西牟田

自転車の利用促進

久留米市では、環境負荷が少なく、健康づくりにもつながる自転車を活用し、市民や観光客等が安全で快適に、そして気軽に市内を移動できるような「自転車が似合うまちづくり」の実現に向けて「久留米市自転車利用促進計画」を策定し、自転車を利用する仕組みづくりや自転車の通行環境改善などの取り組みを進めているところです。

自転車の利用状況についておたずねします

Q1 日常生活におけるあなたの主な移動手段は、何ですか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

1 徒歩	10.0%
2 所有自転車	14.9%
3 シェアサイクル(自転車の共同利用)	0.0%
4 二輪車	1.3%
5 バス	2.7%
6 鉄道	3.3%
7 タクシー	0.0%
8 マイカー(エコカー:ハイブリット車・電気自動車)	26.8%
9 マイカー(エコカー以外)	40.6%
10 その他(具体的に:)	0.4%

Q2 あなたは、自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

1 ほぼ毎日	10.9%
2 1週間に3から4日程度	5.6%
3 1週間に1から2日程度	4.6%
4 1ヶ月に数日	11.3%
5 1年に数日	16.5%
6 利用しない	51.0%



Q4へ

Q3 Q2で「自転車を利用する」と回答された方におたずねします。
自転車を利用する目的は何ですか。(あてはまるものをいくつでも選んでください)
【回答数:234】

1 通勤	20.1%
2 通学	6.8%
3 仕事・業務	10.3%
4 買物	62.0%
5 通院	13.7%
6 習い事・塾	5.6%
7 サイクリング(娯楽)	11.1%
8 スポーツ(自転車競技)	0.4%
9 健康維持・増進	12.0%
10 環境負荷の軽減	2.6%
11 その他(具体的に:)	11.1%

自転車の利用環境についておたずねします

Q4 現在、自転車で通行する道は走りやすいと思いますか。

(あてはまるもの1つ選んでください) 【回答数:478】

- | | | | | |
|-----------------|-------|-----------------|-------|-------|
| 1 走りやすい | 3.3% | 2 どちらかといえば走りやすい | 16.1% | ➡ Q5へ |
| 3 どちらかといえば走りにくい | 51.5% | 4 走りにくい | 29.1% | ➡ Q6へ |

Q5 Q4で、「走りやすい」、「どちらかといえば走りやすい」と回答された方におたずねします。

自転車で通行する道が走りやすいと思う理由は何ですか。

(あてはまるものいくつでも選んでください) 【回答数:93】

- | | |
|--|-------|
| 1 路面に案内表示(青色の矢印(矢羽根)など)があり、
走る位置が分かりやすい | 24.7% |
| 2 十分な道幅がある | 48.4% |
| 3 路面のデコボコが少ない | 29.0% |
| 4 他の自動車との接触の不安が少ない | 20.4% |
| 5 歩行者との接触の不安が少ない | 19.4% |
| 6 その他(具体的に:) | 6.5% |

Q6 Q4で、「どちらかといえば走りにくい」、「走りにくい」と回答された方におたずねします。

自転車で通行する道が走りにくいと思う理由は何ですか。

(あてはまるものをいくつでも選んでください) 【回答数:385】

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1 どこを走ったらいいか分からない | 37.1% |
| 2 道幅が狭い | 76.4% |
| 3 路面がデコボコである | 47.8% |
| 4 他の自動車と接触しそうで危険である | 66.5% |
| 5 歩行者と接触しそうで危険である | 42.1% |
| 6 路面の案内表示(青色の矢印(矢羽根)など)が連続していない | 27.5% |
| 7 その他(具体的に:) | 9.6% |

Q7 あなたは、自転車をとめる駐輪場がどのような施設にあれば便利だと思いますか。

(あてはまるものをいくつでも選んでください) 【回答数:478】

- | | | | |
|-----------------------------|-------|-------------------|-------|
| 1 公共施設(市役所等) | 54.0% | 2 商業施設(百貨店等) | 59.8% |
| 3 鉄道駅 | 67.2% | 4 バス停 | 49.8% |
| 5 教育施設(学校、学習塾等) | 33.3% | 6 金融機関(銀行、郵便局等) | 41.0% |
| 7 公園 | 43.7% | 8 飲食店街 | 35.4% |
| 9 商店街 | 41.2% | 10 文化施設(図書館、美術館等) | 42.9% |
| 11 校区の共用施設
(コミュニティセンター等) | 32.8% | 12 職場 | 19.0% |
| 13 その他(具体的に:) | 4.0% | | |

自転車のルールについておたずねします

Q8 自転車を利用するときの主なルールとして、以下のものがあります。
そのうち、次の項目について、あなたの認知度及び遵守状況を選んでください。
(それぞれあてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

	ルールを知っており、いつも守っている	ルールを知っており、ときどき守っている	ルールは知っているが、ほとんど守っていない	ルールは知っているが、自転車に乗らない	ルールを知らなかった
「自転車の通行は車道が原則であり、歩道は例外」	23.8%	23.8%	5.4%	44.8%	2.1%
「車道は左側を通行」	35.1%	17.4%	2.1%	44.3%	2.1%
例外的に歩道を通行する場合において、「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」	34.1%	13.4%	2.3%	36.0%	14.2%
「飲酒運転禁止、ながらスマホの禁止、信号遵守、一時停止」	51.9%	4.0%	0.4%	42.9%	0.8%

Q9 福岡県では令和2年10月1日から、自転車利用者に自転車保険(自転車損害賠償保険等)への加入が義務化されていますが、知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

- 1

知っている。自転車に乗るため、保険に加入している。

32.6%
- 2

知っている。自転車に乗っているが、保険に加入していない。

6.7%
- 3

知っている。自転車には乗るが、保険に加入しているか分からない。

3.1%
- 4

知っている。自転車に乗らないため、保険に加入していない。

37.9%
- 5

知らなかった。

19.7%

自転車の利用促進についておたずねします

Q10 自転車に関するどのようなイベントを実施してほしいと思いますか。
(あてはまるものをいくつでも選んでください)【回答数:478】

1	サイクリング(短距離)	22.4%
2	サイクリング(長距離)	9.4%
3	自転車レース(ロードレース)	6.3%
4	自転車レース(マウンテンバイク)	1.9%
5	まちめぐり	53.1%
6	こどもの自転車教室(補助輪を外す練習など)	45.6%
7	色々な種類の自転車の乗車体験(例:4人乗れる自転車、手で漕ぐ自転車)	19.2%
8	その他(具体的に:)	16.7%

Q11 令和6年4月から民間企業が運営するシェアサイクルサービス「charichari(チャリチャリ)」が久留米市でも始まりました。「charichari(チャリチャリ)」を知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

1	知っている	81.0%	2	知らない	19.0%
---	-------	-------	---	------	-------

Q12 Q11で「知っている」と回答された方におたずねします。
「charichari(チャリチャリ)」を利用したことはありますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:387】

1	日常的に利用している	1.3%	2	ときどき利用している	4.9%
3	数回利用したことがある	8.3%	4	利用したことはない	85.5%

Q13 自転車の利用機会をより増やすためには、どのようなきっかけが必要だと思いますか。
(あてはまるものをいくつでも選んでください)【回答数:478】

1	安全で快適な道路整備	87.7%
2	停めやすい場所に駐輪場がある	66.9%
3	サイクリング環境が整っている	30.5%
4	自転車の通勤制度が充実している	19.7%
5	自転車のメリットを深く知る	13.0%
6	自転車利用者全体のマナーアップ	51.7%
7	シェアサイクル(自転車の共同利用)の充実	30.3%
8	その他(具体的に:)	8.6%

Q14 久留米市の自転車利用について、ご意見やご提案があれば自由にご記入ください。

- ・自動車専用道などの整備、拡充
- ・道幅の狭さや、路面のデコボコなどのインフラ整備
- ・ルールの周知、自転車のマナー改善 など

緑に関する意識について

久留米市では、「緑の基本計画」という市の緑に関する総合的な計画を策定しています。
この計画の認知度や効果的な周知方法についておたずねします。

※このアンケートで対象としている「緑」とは、樹木や草花などの植物だけでなく、自然環境を有する「山、川、池、農地」や「公園や広場、道路や施設の緑地等」を含みます。

「緑の基本計画」について

Q15 久留米市では、緑の基本計画に基づき、市民や事業者等の皆様と一緒に緑のまちづくりに取り組んでいます。この計画を知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

- | | | |
|---|----------------------|-------|
| 1 | よく知っている | 2.7% |
| 2 | ある程度知っている | 15.7% |
| 3 | 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない | 32.6% |
| 4 | 知らない | 49.0% |

久留米市緑の基本計画とは、
市が目指すべき緑の将来像を定め、その実現に向けて、緑化の保全や公園緑地の整備、管理、その他公共公益施設、民有地の緑化推進など緑全般についてどのように緑を守り、創り、育てるのかの指針となる計画です。

緑の基本計画についての詳しい説明は、「市公式ホームページ」をご参照ください。
<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2060dourokasen/3040machizukuri/2018-0807-1646-98.html>

Q16 「緑の基本計画」を市民の皆様に知ってもらうための効果的な情報発信の手法は、何だと思いませんか。
(あてはまるものを3つまで選んでください)【回答数:478】

- | | | |
|---|---------------------|-------|
| 1 | 市の公式LINEによる情報発信 | 54.0% |
| 2 | インスタグラム等のSNSによる情報発信 | 56.3% |
| 3 | パンフレットによる周知 | 32.2% |
| 4 | イベント等での周知 | 49.4% |
| 5 | 学校での教育学習での周知 | 40.4% |
| 6 | 出前講座等の開催による周知 | 9.8% |
| 7 | その他(具体的に:) | 5.2% |

「出前講座」とは、職員が皆さんのところに出向いて、市役所の仕事や暮らしに役立つ情報などをお話しする講座です

Q17 久留米市では、津福公園やリバーサイドパークなどを整備し、魅力的な空間づくりを進めてきました。ここ数年、市の花や緑、水辺などの魅力が高まっていると感じますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

- | | | |
|---|----------------|-------|
| 1 | そう感じる | 12.6% |
| 2 | どちらかといえば感じる | 50.6% |
| 3 | どちらかといえばそう感じない | 22.0% |
| 4 | 感じない | 14.9% |

Q18 「グリーンインフラ」という言葉や内容を知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください)【回答数:478】

- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1 | よく知っている | 2.5% |
| 2 | ある程度知っている | 12.3% |
| 3 | 言葉は知っているが内容は知らない | 18.8% |
| 4 | 知らない | 66.3% |

グリーンインフラとは、

コンクリート中心の「グレーインフラ」に対し、気温上昇の抑制や生物多様性の保全などに効果のある「緑」の機能を、道路、下水道、学校などの「インフラ」に活用する取り組みや考え方を「グリーンインフラ」といいます。

具体的な事例としては、雨水貯留・浸透、都市の緑花、自然環境の保全・活用などがあります。グリーンインフラの実現により、持続的で快適な都市・生活空間の形成、防災・減災力の向上、暑熱対策、生物多様性の確保、経済の活性化、温室効果ガスの削減、循環型社会の形成などが期待されます。

Q19 今後、グリーンインフラとして、どのような取り組みが行われると良いと思いますか。
(あてはまるものを3つまで選んでください)【回答数:478】

- | | | |
|----|------------------------|-------|
| 1 | 花や緑に囲まれた生活環境づくり | 40.8% |
| 2 | 暑さ対策のための街路樹の日陰づくり | 68.6% |
| 3 | 散歩や運動ができる公園づくり | 55.2% |
| 4 | にぎわいあふれる公園やオープンスペースづくり | 22.2% |
| 5 | 近所の方と交流できる身近な公園づくり | 9.4% |
| 6 | 災害時に活用できる公園づくり | 34.7% |
| 7 | 市民等との協働による維持管理 | 7.1% |
| 8 | 山と川の風景の保全 | 23.6% |
| 9 | 生物多様性の確保 | 9.6% |
| 10 | その他(具体的に:) | 3.8% |